

たかはま夢・未来塾新聞

EUREKA

ユリイカ



第3号 2013年10月発行

EUREKAとは・・・見つけた！わかった！を意味するギリシャ語。アルキメデスが王冠の金の純度を図る方法を発見した時叫んだとされる言葉。英語圏ネイティブは、いいアイデアが浮かんだ時や何かを発見したとき、科学者や研究者に限らず、誰でも「Eureka!」と叫ぶのだそうです。

ディベート甲子園 第3位!!

たかはま夢・未来塾 ディベートクラブの塾生が8月10日(土)-12日(月)に東洋大学(東京都文京区白山)で開催された第18回全国中学・高校ディベート選手権(通称:ディベート甲子園)に東海地区代表として、出場しました。出場2年目にして大健闘の結果、3位になりました。



伊藤優花さん(中3)



鬼原聖弥くん(中3)



杉浦彩希さん(中3)



野々山陽くん(中2)



全国ジュニア発明展入選!!

たかはま夢・未来塾の発明クラブ塾生4名の発明アイデアが、第16回全国ジュニア発明展のアイデア審査会(1次)で「入選」しました。現在、入選したアイデアに基づき、作品を製作中です。作品ができましたら、お知らせいたします。

テレビ番組制作スタート!

今年度もビデオクラブは、テレビ番組制作を行います。今年、3チームに分かれて、かわら美術館・魚松さん・マンガ家たかはまこさんを取材しました。

工場見学会開催!



夏休み特別企画として、(株)豊田自動織機 トヨタ L&F カンパニーに塾生39人と工場見学会に行きました。フォークリフトの動きを実演していただいたのち、工場を見学しました。有意義な一日を過ごすことができました。ありがとうございました。



発行元 たかはま夢・未来塾
444-1305 愛知県高浜市神明町2-18-13
開館日時 月・火・木・金 9時~12時

E-mail miraijuku@katch.ne.jp
TEL & FAX 050-5204-9689
URL: <http://yume-mirai-juku.jp>

ロボットクラブ全国大会結果

5月4日(土)-6日(月・祝)に「ロボカップジュニアジャパンオープン2013東京」が東京都町田市の玉川学園にて行われました。たかはま夢・未来塾 ロボットクラブから

- ・Team Takahama Revolution 野々山 陽(高中2年) 磯部 太一(高中1年)
 - ・Team Takahama YTSキッズ48 永江 太一(翼小6年) 寺田 倅紀(吉小6年)
 - ・Team Takahama キング 名倉 和槻(高小6年) 鈴木 健斗(アメリカ)
 - ・Team Takahama Victory 寺迫 太陽(高中3年) 原 奈槻(高中3年)
 - ・Team Takahama Legend 児玉 眞行(研究生) 村田 崇成(研究生) 杉浦 佑斗(高中3年)
- の5チーム11名が東海ブロック代表として出場しました。

結果は以下の通りです。

- ・Team Takahama Revolution 決勝トーナメント出場
- ・Team Takahama YTSキッズ48 アドバンスリーグ出場

今年度の高浜ノード大会は、11月3日(日)に開催が決定しました。場所は翼公民館です。ぜひ、試合観戦にお越しください。



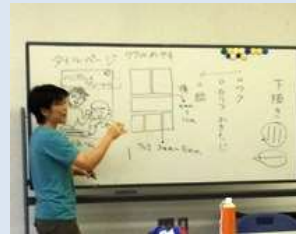
海の生き物を作ったよ！

「ものづくり」を通じて、英語感覚を養おう！」講座では、今年度、紙を使った工作を中心に行いました。カメや魚などの海の生き物や、抽象的な貼り絵などを制作しました。T1ぽーと(1階鶏乃舎コケッコ隣)にて、10月5日～11日まで展示されました。



マンガクラブ開講！

今年度より、チャレンジ！エンジョイ！プログラムとして、「オリジナル漫画」を描いてみよう！」講座が始まりました。講師は、高浜市在住のマンガ家たかはまこ先生です。先生がじきじきに選んだ専門道具を手に、マンガの描き方の基礎を一から学んでいます。どんな作品が出来上がるか、今から楽しみです。作品は公開する予定です。



ふしぎな水溶液！

今年度のおもしろサイエンスクラブは、全5回の科学講座になります。9月8日(日)に第1回目講座があり、「水溶液のふしぎ」について学びました。



塾生の感想を紹介します。

ディベート甲子園出場者

ディベート甲子園に出場して

僕は第二反駁を担当しました。

全国3位をとった時の喜びは今も心に残っています。

しかし、準決勝の時「あと一人のジャッジを説得できれば・・・」と思うこともあります。

けれども、日本でもレベルの高い試合をできたことはいい経験になりました。

3月の論題発表から約5ヶ月。これまでチームで努力してきたことが結果として

表れたことは嬉しかったです。ディベートの魅力の一つだと思います。

来年もこの舞台に来れるように頑張りたいと思います。

そして、貴重な体験ができたのは皆様のご協力があったからです。

ありがとうございました。

高浜中学校2年 野々山 陽



ロボカップジュニア出場者

ロボカップジュニアジャパンオープン2013 in TOKYOに出場して

Team Takahama YTSキッズ48 寺田偉紀

1. 結果

1) ライトウェイトリーグ 予選 2勝2敗Iコート3位 予選敗退

2) アドバンスドリーグ 予選 3勝1敗 Ad-3コート2位 決勝トーナメント 初戦敗退 ベスト8位

2. 良かった点

1) 大会中故障が無く最後まで戦えた。

2) 東海大会後に実施したOWNゴール対策により、OWNゴールがほとんど無かった。

3) ゴールバーが丸棒でタッチセンサが動作しなかった問題をパドックで改善できた。

3. 悪かった点

1) ボールをキープしてからシュートするまでの判断が遅いので、相手にボールを奪われるシーンが多かった。

2) 相手チームの問題を審判に大きな声で主張する事が出来なかった。

3) 試合中に感情的になってしまい冷静さを失った。

4. 所感

大会中は、先輩達に助けてもらったり、他のチームと情報交換する事が出来てとても楽しかったです。

アドバンスドリーグでは英語を話さなければならなかったのですが、野々山先輩に

英語に翻訳してもらって事に対応できました。入賞できなくて悔しかったので、

今後は奥井先生からしっかり学んで賢くて強いロボットを作りたいです。



ロボカップジュニアジャパンオープン2013 in TOKYOに出場して

Team Takahama YTSキッズ48 永江 太一

1. 全国大会に向けて行った事、目標

東海大会でOWNゴールが多かったので、GK用四輪ロボットにして調整していった。

2. 苦労した所、工夫点

四輪でうまく動かなかったので、サスペンションを考えて付けた。

3. 大会成績(全試合数9試合、勝5、負4)

勝てた理由: 動きは悪かったけど、ゴール前にいたから、少しはボールを防げたと思う。

負けた理由: ゴール前に戻るのに時間がかかるし、戻るまではボールを追って行かなかったから。

4. 大会の感想

負けたから次は勝ちたい!

5. 今後の目標、活動

全国大会の決勝リーグまでは行きたい。今のロボットのプログラムを

良くして行きたい。1台では解らないから2台以上で確認する。

6. その他

ロボットの調子が悪かったが、調整を続けたら最後は動きが良くなった。

決勝トーナメントでは負けたが、最後まで諦めずにやって良かった。

応援してくれた人、調整を手伝ってくれた人、ありがとうございました。



裁判員裁判とディベート

たかはま・夢未来塾 理事 田代 清一(弁護士)

- 1 ああ言えばこう言う、の詭弁か
ディベートの議論は誤解されることが多いです。
会社の社長さんからすると、従業員から、仕事がつい、給料が安いと言われてディベートされると、負けちゃうと思うでしょう。そう言えば、弁護士の仕事も戦前は、三百代言と言われて正業ではないと言われていました。その理由として、真実の一つなのにお金もらって手前勝手な屁理屈を言う仕事とみなされていたことが挙げられます。
- 2 裁判は、厳しい検察官と弁護人がいて公平が保たれると考えられています。
一方、裁判は民事でも刑事でも意見の異なる対立当事者にその主張を尽くさせることによって初めてジャッジ役の裁判官により公平な判断を期待できます。ディベートあってこそ真実の発見ができます。検察官だけの裁判では江戸時代の大岡裁判になってしまいます。賄賂と冤罪が横行する暗黒社会です。
- 3 普通の市民がディベートのジャッジをする時代になりました。
裁判員裁判は一種のディベートですが、民間人6人の素人裁判官が検察官と弁護人のディベートを聞いてジャッジします。4年前から実施されていて、既に西三河を管轄する岡崎の裁判所でも91件の裁判(全国約7000件)が実施されています。その評判は良好です。裁判員自身の感想でも、検察官の意見(論告)を聞くと検察官が正しいと思うが、弁護人の意見(弁論)を聞くとまた弁護人が正しいと思われ、結局事件の真実発見にディベートが役に立つと言う意見が多いです。ディベートが真実発見のための有力な手段であることが認知されたといえます。また同時に、ディベートに負けたとしても納得して結論に従うことができます。
- 4 相手の立場でものを考える。
ディベートをして負けても、納得という場合が多いと思います。ディベートをしていて、悔しいけど相手の議論に感心して納得する場合があります。刑事裁判では良いディベートがあると被告人の立場でものを考えてもらえるので厳しい裁判でも被告人は納得して刑に服する傾向があります。
たまたま未来塾の理事をさせていただいて知り合ったディベートですが、その素晴らしさに感心しています。幅広く理解者を増やすことができればと思います。応援します。

海洋研究機構視察

発明クラブ講師 岩月 勝之

愛知県発明協会主催による海洋研究開発機構(JAMSTEC)の視察会があり、最近注目の深海開発の現状を現地現物で見てスキルアップをするため参加したので報告します。

場所は横須賀にある本部の施設です。

最新鋭の無人で自律型の深海巡航探査機『うらしま』を始め、色々な深海探査機を見ることが出来ました。撮影禁止で良い写真が撮れなくて残念でしたが、一部の写真を紹介します。

深海探査の技術は深海という強い強い水圧を乗り越えるため、色々な工夫がされています。

そしてその技術は特許で守られており大きな知的財産になっていました。

防災面では巨大地震に備え深海で使える地震計を開発し設置したり、資源調査ではレアメタルなど鉱物資源とか、メタンハイドレードなどエネルギー資源を調べ利用技術の開発もしています。

海の海流は気象にも大きな影響をします、地球温暖化も目の前の問題ですね。

これは資源が少ない日本にとって、とても大事な活動だと思います。

将来の日本が資源大国になることも夢ではないのです。

皆さんこれからはもっと足元の海に目を向けましょう。



地球深部探査船「ちきゅう」

この船により、今まで人類が到達できなかったマントルや巨大地震発生帯を掘削できるようになりました。



ホーネット500
無人探査機



深海巡航探査機
「うらしま」内部



深海巡航探査機
「うらしま」

「うらしま」は、地球温暖化のメカニズムを解明するために必要な塩分濃度、水温等の海洋データを広範囲にわたって自動で採取することができます。